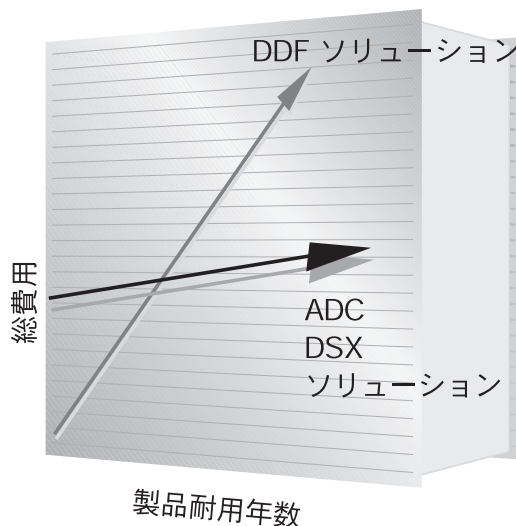
DSX600™
The DSX Value Solution

ケーススタディ

有用性を重視した DSX ソリューション。

ADC の DSX は、DDF 技術よりさらに高い収益性を企業に提供する製品です。DSX ソリューションと DDF ソリューションを比較するには、製品の運用期間中の設備費を見積もる必要があります。下のグラフでは、DDF ソリューションが購入時の価格において大幅に費用が削減できることがわかります。しかし、製品の運用年数で比較すると、DSX の方がが価格面で非常に経済的です。この総費用の換算には、購入当時の初期投資、運営および維持コスト、メンテナンス期間中のカスタマの収入ロスを考慮に入れています。今回のケーススタディは、DSX が通信事業者の業務をいかに改善し、競争に勝ち残る有益性の高い商品になったかを説明するものです。このテンプレートは、Total Cost Model を基に、DSX と DDF の比較評価の際に必要な項目の概要を説明したものです。

大切なのは製品の購入価格だけではありません。
結局はいかに企業の収益性を高める製品を購入するかということです。

従来のネットワーク：DDF の限界

規制緩和が行われて以来、消費者の選択基盤は広がり、通信サービスプロバイダは熾烈な競争市場に向かい合うことになりました。拡張性、ネットワークの柔軟性、新規のサービス展開、操作性の向上と費用削減などの数々の問題点が表面化しています。この競争の厳しい市場によって、サービスプロバイダは大きな要求をつきつけられることになったのです。この市場で成功するためには、顧客に対して理解しやすいサービス展開が可能になるよう、ネットワークをシームレスに移行させることが重要な鍵となります。その第一歩をお手伝いするのが、ADC の Digital Signal Cross-Connect（DSX ）ソリューションです。

最近市内通信市場の規制緩和が実施されました。これによって使用者が通信事業者を選べるようになり、これまで独占的存在であったサービスプロバイダは、今や厳しい市場競争に直面せざるをえなくなりました。このようなサービスプロバイダは、新しい競争市場の需要に応えるため、複数の電話局の設置を計画し、ネットワークの柔軟性や、操作性の向上、費用削減を実現させたいと考えています。そのため、こうした新規の電話局に向けて、DDF を含むさまざまな装置用を対象とした RFQ/RFP が発行されました。

3,000,000 余の加入者を抱えたネットワークを見てみましょう。その主要な加入者のひとつである大手金融機関では、昼夜を問わないサービスの提供が求められています。現在の DDF には、ワイヤラップ端子台へはんだ付けされたクロスコネクトソリューションが使用されていますが、このソリューションには次のような問題点があります。

・テストまたはモニタリングの際にサーキットにアクセスする手段がありません。テストを実施する際に、ワイヤの接続を端子台から解除しなくてはならないため、サービスが中断されることになります。

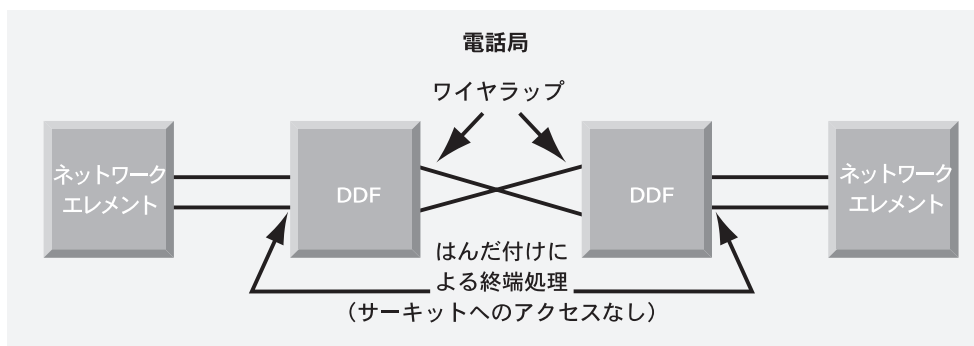
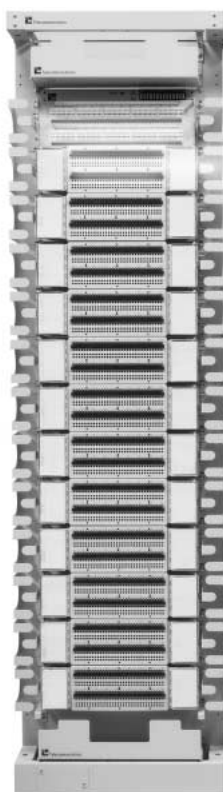
・サーキットの一時的迂回を行なうパッチ機能がありません。経路を変更するためには、サーキットを再度ジャンパさせ（これを行うとサービスが中断されてしまいます）、さらに元の経路に戻す際にもまたジャンパを行う必要があります（ここで再びサービスが中断されます）。

・ケーブル管理の制限対応するサーキットは、クロスコネクトサーキットをすべて手動でトレースして探さなくてはなりません。

これによって以下のような問題が生じます。

・人的作業が必要なため、保守・運用費用が増加。

・サーキットのダウンタイムが加入者の不満を高め、収益が減少。

・信頼性やサービス品質の低下。

現在の構成

DSX で実現する次世代ネットワーク

ADC の DSX ソリューションには、次のような利点があります。

DSX モニタポートは内部へ侵入せずにテストを行なうことができます。IN/OUT ポートによりパッチ機能へ素早く容易にアクセスすることができます。将来新しい装置へアップグレードする際にも、サービスを停止する必要がありません。

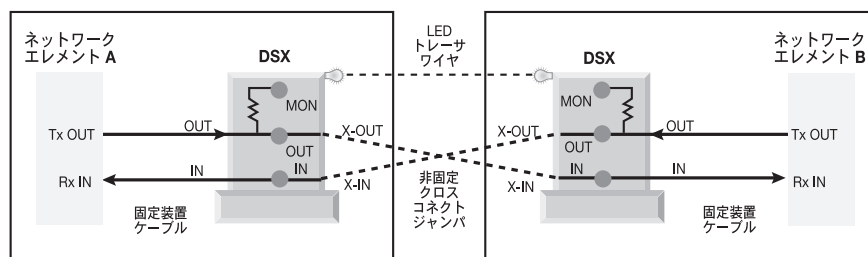
保守・運用費用を大幅に削減

IN/OUT およびモニタポートにより、テストやモニタリング、パッチ時もサーキットへのアクセスが可能。テスト時のワイヤの接続解除が不要になります。

確実なケーブル管理を実現

クロスコネクトサーキットが LED の点灯によって確認できます（手動によるサーキットのトレースは不要）。ケーブルリング、スケルトン架などのアクセサリーによって効果的なケーブル管理が確実になり、保守費用を削減、新しいサービスと技術の導入を容易にし、現在のネットワークへの影響を最小限に抑えたままで将来の拡張性を実現します。

モジュラー化により柔軟性を実現

DSX システムによって柔軟な拡張性が得られ、必要に応じて、カード、シャーシ、またはベイを追加することができます。

DSX 構成
モニタリング、テスト、およびパッチ時にサーキットへのアクセスが可能

ADC の DSX ソリューション

収益の増加、操作性の向上、およびカスタマの満足度を高めるため、DSX は次の点を実現します。

年間保守費用を削減

ADC の DSX ソリューションの採用によって、運用期間中に各サーキットにかかる費用を大幅に削減できます。

装置購入費用

＋保守・運用費用

＋ダウンタイムによる収益減少

＝製品の総費用

収益の低下を抑え、顧客の減少をゼロに

市場の規制緩和により競争が激化している今、サービス停止への対策を講じなければ、エンドユーザは他社に流れてしまいます。ADC の DSX は、サービス停止を減少させ、顧客数の維持を図るとともに競争力を強化します。

採算性のスピードアップ

費用を大幅に削減し、他社の DDF ソリューションに比べ、より早い投資の回収を可能にします。

DSX は、競争力と収益性の向上をお約束します。

Web サイト：www.adc.com

電話番号：1-800-366-3891 （無料：北米内）、+1-952-938-8080 、FAX +1-952-946-3292 （その他の地域から）

各国の営業所の住所については、上記の Web サイトをご覧ください。

ADC Telecommunications, Inc., P. O. Box 1101 Minneapolis, Minnesota USA 55440-1101